









# 令和3年 **7**月の大阪森林便り

## 目次

### 今月の木の話 白神山地と屋久島 **ブナ**が代表する白神山地 **スギ**が主役の屋久島

- (1)  カナダ産製材品 最高値 対日7~9月「ウッドショック」で
- (2)  国産割り箸 値上げ 発電需要で材料の間伐材上昇
- (3)  関西の信金、木材・住宅支援
- (4)  輸入合板が一段高 東南アジアの工場停止響く
- (5)  木材、米中への輸出 活況 日本、販路確保狙う
- (6)  大和・積水、住宅値上げ ウッドショック、日本に余波
- (7)  米木材先物、5割下落 最高値比 投機売り、調達手控えて
- (8)  針葉樹合板 追加値上げ セイホク、7月分5%



## 今月の木の話

### 白神山地と屋久島

#### **ブナ**が代表する白神山地 **スギ**が主役の屋久島

#### ☆白神山地

- \*青森県と秋田県にまたがる広さ170km<sup>2</sup>に及ぶ世界最大級のブナ原生林。
- \*ブナ群落のほかサワグルミ、ミズナラ等多様な植物群落も共存。
- \*イヌワシを始めクマゲラ等の鳥類、日本カモシカ、ツキノワグマ等の哺乳類、2千種以上の昆虫が生息。

#### ☆屋久島

- \*鹿児島県南方約60km、面積約500km<sup>2</sup>、日本では5番目に大きい離島。
  - \*九州最高峰の宮之浦岳(1935M)を中心に1000Mを超える山が30以上連座。
  - \*樹齢7200年といわれる縄文杉をはじめとして1000年を超す天然杉(樹齢1000年までは小杉)の原生林のほかシイ、カシ、クスの常緑広葉樹も世界最大級の規模。
  - \*ヤクザル、ヤクシカ、鳥類、昆虫類の珍種も。
- (2008年発行(社)大阪府木材連合会・大阪木材仲買協同組合発行「天然記念物 巨樹・古木」より抜粋・引用)

## (1) **カナダ産製材品 最高値 対日 7～9月**

### **「ウッドショック」で**

- \*カナダ産製材品の対日価格が3四半期連続で最高値を更新。
- ・カナダ西部内陸産のS P F材の7～9月期価格は、日本向け規格が前四半期より83.5%高。
- ・米国市場の値上がりに連動。
- \*対日価格は、日本規格の高品質なプレミアム分と海上運賃の上昇分が上乘せ。  
(2021年6月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (2) **国産割り箸 値上げ 発電需要で材料の間伐材上昇**

- \*杉などを使った国産の割り箸が値上がり。
- ・材料となる間伐材などが木質バイオマス発電の燃料となり、材料費が上昇。
- ・中国への丸太輸出も材料費の押上要因。
- \*年間200億膳使う国内の割り箸の97%は、安価な輸入品。
- \*輸入木材の価格高騰「ウッドショック」への対応で、国産の製材品需要が増えれば端材の発生も増え、材料費が抑えられる可能性も。  
(2021年6月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (3) **関西の信金、木材・住宅支援**

### **木材相場高「ウッドショック」で混乱 取引先橋渡し、商域生む**

- \*木材相場高「ウッドショック」を巡り、住宅と木材の中小事業者を支えようと関西の信用金庫が動き始めました。
- \*ウッドショックの震源地は米国。
- ・新型コロナウイルス禍でリモートワークの需要が高まる一方で景気回復も進み、住宅需要が急増。日本でも輸入材が手に入りづらくなっています。
- \*日本の建築用木材の自給率は5割ほど。
- \*枚方信用金庫が目をつけたのが、木材の産地である京都北都、きのくに、新宮の3つの信金。
- ・協定を結び、各信金が仲介して住宅約35社と材木計20社が交渉。
- \*価格や用途で折り合えるのか、輸入材が再び入った時でも地場の木材を使うのか、といった課題はあります。  
(2021年6月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

#### (4) 輸入合板が一段高 東南アジアの工場停止響く

\* 輸入合板価格が一段高。

- ・ 東京地区の間屋卸価格は、前月比 4%高。2019 年 9 月以来の高値。
- ・ 薄物（厚さ 2.3 ミリ品）も前月から 2%上昇。

\* 東南アジアでは採算悪化で昨年からの工場の操業を止める合板会社が相次いでいます。

\* マレーシアは 6 月からロックダウン（都市封鎖）に入りさらに工場の稼働率が落ち、品薄感に拍車がかかりました。

\* 現地の原木価格は上昇が止まりましたが、昨夏と比べ 73%高くなっています。

（2021 年 6 月 15 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

#### (5) 木材、米中への輸出 活況 日本、販路確保狙う 米国 住宅フェンス用 中国 梱包向け

\* 2020 年の中国向けの丸太輸出量は約 115 万 7 千 M3。前年比 22%増え、丸太輸出全体の 8 割超を占めました。

- ・ 2021 年 1~4 月も前年同期を 51%上回ります。

\* 輸出価格も上昇。

- ・ 中国向け杉丸太の輸出価格は、2021 年 6 月積みで前月比 6%高。

\* 中国でインフラ整備や鋳工業生産が活発。

\* 中国発の海上コンテナ輸送も、消費が好調な米国向けは高水準。

- ・ 梱包材や D I Y に使う製材品向けの木材需要が旺盛。

\* 中国は 2020 年 11 月、丸太輸入量約 1 割を占めるオーストラリアからの輸入を停止。

・ 約 2 割を占めるロシアは国内産業育成を目的に、加工度の低い丸太の輸出を抑制。

- ・ 2022 年からは針葉樹丸太の輸出を全面禁止する方針。

\* 米国向けには製材品の輸出が増えています。

・ 2020 年の輸出量は、2019 年の 2.1 倍。2021 年 1~4 月も前年同期比の 2.3 倍。

\* 米国では、昨夏から住宅需要が旺盛で木材価格が急騰。

- ・ 日本からも庭を囲うフェンスなどに使う製材品を調達。

\* 日本の製材各社は、長期的に安定した需要が見込める北米向けを中心とした海外で販路の確保を目指します。

\*米国では急騰していた木材先物価格が約1か月で4割下落。

・それでもなお価格は、前年同月の3倍の水準。

### 国内価格も一段高に

\*集成平角の東京地区の間屋卸価格は前月比13%高く、2か月連続で最高値を更新。

\*欧州の木材メーカーが米国向けの供給を増やしています。

\*米松KD平角の東京地区の流通価格は、前月比で15%高。グリーン材も8%上昇。

\*米松製材最大手の中国木材が、6月20日納品分から4度目の値上げ。

\*杉KD正角は、首都圏の間屋卸価格が前月比22%高。グリーン材も23%高。

(2021年6月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (6) 大和・積水、住宅値上げ

### ウッドショック、日本に余波 調達・着工遅れ懸念

\*大和ハウスは6月から戸建て住宅の一部について、建築費用の見積もりに木材価格の上昇分を上乗せしました。

・上乗せ額は数十万円程度で、建築費用（土地代除く）は1%上昇。

\*一般的に、木造住宅の建設コストのうち木材価格は1割程度。

\*積水ハウスは、自社で手掛ける木造住宅すべてで値上げしました。

・値上げ幅は建築費用（土地代除く）の1%。

\*米国での旺盛な住宅需要や貨物コンテナの不足などが重なり、日本向けの木材が軒並み高騰しています。

\*カナダ産SPF材の対日価格は最高値を更新し続けており、前年同期と比べ3倍以上高。

\*プレカット最大手のポラテックは木材不足を受け、3月末から6月20日まで受注を制限。引き渡し価格も例年より6割高。

\*住宅の値上げや着工遅れは、国内消費への影響が大きくなります。

### 米で反落も前年比2倍

\*米国では足元の木材価格は下落に転じています。

・5月中旬と比べ、約2割下がりました。

\*相場が下がっているのは、住宅設備が足りずに着工が遅れている影響。

\*それでも現物価格は前年の2倍強。

\*住宅の需要自体は堅調。

\*最高値を付けた7~9月期分の北米産木材が日本に入ってくるのもこれから。

ウッドショックの流れ	
2020 年春	米とカナダの木材メーカー減産
2020 年夏	米の住宅需要が急回復
2020 年 9 月	米市場で木材価格が最高値
2020 年後半	米が木材不足・欧州から輸入増
2021 年初	日本の木材買い負け鮮明に
2021 年 1 月	北米産木材の対日価格最高値
2021 年 5 月	欧州産原料の集成材が最高値



(2021 年 6 月 19 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (7) 米木材先物、5 割下落 最高値比

### 投機売り、調達手控えで 日本は上昇続く

- \* 米国で木材先物相場が急落。5 月の最高値から 5 割安。
- \* 米国の住宅需要はなお強く、相場は高止まりするとの見方。
- \* 高値の木材が対日輸入されるのもこれからで、国内価格は当面上昇する見通し。

#### ☆下落の理由

①海外ヘッジファンドなど投機筋の材木の買い越し幅は、6 月 22 日時点で 1 月の直近ピークから 9 割強減。

・現地木材メーカーが設備増強を相次ぎ発表。供給増加を見越した投機筋の売りを誘いました。

②住宅着工の遅れ

- ・住宅着工が木材の供給能力を超えて増えたため。
- ・合板や水回り設備用の建材が不足し、住宅着工が遅れ始めました。
- ・このため、ハウスメーカーなど木材の需要家の一部が調達を控えました。

\* 5 月の米国新築一戸建て住宅販売件数（年率換算）は、76 万 9 千戸と前月比 5.9%減少。

・住宅価格の高騰で消費者の住宅購入の勢いがやや弱まったとの指摘も。

\* ツーバイフォー製材品は 6 月下旬、5 月の最高値と比べ 4 割安。

\* それでもなお、先物価格も現物価格も前年同期比で約 2 倍の高値水準。

\* 住宅ローン金利が上昇する前に購入しようという消費者の動きが続くとの見方。

\* 日本国内の流通価格はしばらく上昇が続きそう。

\* コンテナ船物流の混乱に伴う輸送費の高止まりも解消していません。

(2021 年 6 月 29 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(8)  **針葉樹合板 追加値上げ セイホク、7月分 5%**

\*国産合板大手のセイホクは針葉樹合板の出荷価格を、7月分から 5%上げます。

・原木丸太の価格が品薄で急上昇。

\*国産丸太は、世界的な木材高「ウッドショック」の余波で入荷が減った輸入木材の代替需要として引き合いが増え、価格が上昇。

・中国向けの輸出も増え、特に西日本で丸太が品薄。

\*5月末の国産針葉樹合板の在庫は、前月末比 7.1%減。前年同月末比で 46%減。

・在庫の減少が鮮明に。

(2021年6月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

